

つなぐ



特集号

新玉まち協10周年記念イベント 大抽選会



伊豫の国新玉古照水軍太鼓



城西中学校吹奏楽部



「第10回地域カパワーアップ大会」

「新玉まち協10周年記念イベント」

令和8年2月8日(日)に同時開催

絵本で育むまちづくり～多世代交流のための絵本の活用法～

講師：聖カタリナ大学短期大学部保育学科 教授 遠藤 文子

オペレッタ：聖カタリナ大学短期大学部「劇団 保育座」



聖カタリナ大学の遠藤教授による「絵本で育むまちづくり～多世代交流のための絵本の活用法～」では、オペレッタ(音楽劇)「なんじゃもんじゃの いのち」と「いのち」を考える授業が行われました。

「なんじゃもんじゃの いのち」は、突然の嵐で倒れたなんじゃもんじゃの木を、森の動物たちが力を合わせて助ける話で、「いのちを守る大切さ」を子どもたちに伝えるために「劇団 保育座」がオペレッタで表現しました。

小・中・大学生・地域の方など8名が参加して行われた「いのち」を考える授業では、参加者それぞれが選んだ「いのち」をテーマにした絵本を紹介しました。誰も経験したことがない「死」について、大人から子どもまで一緒に考えることで、世代を超えた繋がりを感じるとともに、身近な絵本をきっかけに多世代交流に必要な共通の話題が生まれるということ学びました。

新玉地区まちづくり協議会“10年の歩み”

新玉地区まちづくり協議会 上岡会長・泉事務局長



令和7年に設立10周年を迎えた新玉地区まちづくり協議会の上岡会長、泉事務局長が、スローガン「笑顔あふれる新玉をめざして」の実現に向けた取り組み事例を発表しました。

地区の防災福祉マップの作成や人権啓発活動、JR松山駅周辺清掃活動や広報誌「きんもくせい」の発行、文化体験学習の実施など、5つの基本理念に基づいた取り組みを紹介したほか、よりよい新玉を目指して令和7年に実施した住民アンケートの結果を報告しました。アンケートの回答から、災害時への備えや交通安全対策、子どもの居場所づくりがまちづくり協議会に求められていることが分かったため、今後は課題解決に向けた取り組みを行っていきます。

これまでの10年で、一定の基盤づくりを終えた新玉地区まちづくり協議会。これからは、10年後住んでいるまちをどうしたいのか、当事者意識の醸成を図りながら、住民参加型の事業を展開し、住民同士で多様な交流が生まれるまちづくりを行っていきます。

まちづくり人財育成アカデミー活動報告

今年度から新たに立ち上げた「まちづくり人財育成アカデミー」では、受講生13名が3つのグループに分かれ、グループワークやイベントスタッフなどの体験を通じ、まちづくりに関する提案発表をしました。

地域のまちづくり組織の若返り



防災訓練での実践・検証を通じて、子ども達が楽しく参加できるイベントが、三世代交流、将来の担い手の確保に繋がるため、この好循環を作ることが大切であると報告しました。

世代間交流の活性化



地域の食を通じて、小中学生・高校生・大学生と一緒に活動することで、世代間交流が生まれるため、来年度一緒に取り組みたいまちづくり協議会に応募を呼びかけました。

情報の受発信・共有の仕組み



地域に人を呼び込むための情報発信の効果的な方法として、写真撮影のコツなどを学び、実際に高縄山麓市場の広報で活用し、「いいね」数が2倍になったことを報告しました。

《講評》コミュニティ・アドバイザー 前田 眞氏

地域のあるべき姿に近付けるために、成果発表だけで終わらず、まちづくり協議会で取り入れていただければアドバイスもできると思う。受援力も身に付けていただき、活動を行ってほしい。



地域と愛媛大学との連携事業活動報告



今年度からの新たな取組として、地域と愛媛大学生をマッチングし、6人の学生が8つの事業で連携しました。祭り・イベントでの出店や道標の作製、グルメマップ作りやイベント企画・運営など、若い方の視点を取り入れることで、新たなアイデアや活動につながりました。

実際に活動を行った愛媛大学生は、「地域が活気付いたり、地元の農家から規格外品を買い取ることで、付加価値が生まれたりするなど、幸せにつながる」と話していました。

《講評》コミュニティ・アドバイザー 笠松 浩樹氏

学生が持っている力を存分に発揮し、地域に残る活動になればと考えている。継続性が今後の課題だと感じているが、来年度以降もできることを考えていきたい。



《講評(総括)》コミュニティ・アドバイザー 若松 進一氏

準市民を関係人口として活かすとともに、言われてもやらない人たちをワンランクアップさせることができれば松山市は発展するのではないかと。

新玉まち協の発表でもあったように、10年間の素晴らしい実績ができ、これからの10年も新たな歴史を積み重ねると思う。私たちも松山市民のために、準市民として努力したい。頑張ってください。



新玉地区まちづくり協議会 10周年記念イベント

中学生以下が対象の大抽選会や中央児童センター
移動児童館、音楽を交えたおはなし会などをする
えっさっさひろばなど、多世代でイベントを
楽しみました。



えっさっさひろば



しまぼう&モグッピー



おもちゃ病院



中央児童センター移動児童館



イベントの様子が市政広報番組
「大好き！まつやま(第49話)」で放
送されました。右側の二次元コード
を読み取ってご視聴ください。



10周年記念イベントで印象に残ったこと

子ども達の喜びようが印象的で、大成功のイベントに
なりました。地域の将来を考えると、子ども達の育成支
援が急務と感じています。

今後の抱負・目標を教えてください

地域内での課題や問題点を見出すことができ、地域
を良くする活動が出来ている点良かったです。

まち協の活動をしていて良かったこと

地域を住みやすく、安全安心なまちにして行くため
にも、まち協の活動に参加していただける会員や団体を
増やす努力を重ねていきます。また、令和7年度に行っ
た地域内アンケートを分析し、課題 解決に取り組んで
いきます。

第47回 地域で活躍している人をご紹介 まちづくりで輝く人



新玉地区まちづくり協議会
上岡 征司 会長

HP : <http://www.city.matsuyama.ehime.jp/shisei/machizukuri/chiikicomunity/tikudayori.html>

Facebook : <https://www.facebook.com/machijoho>

発行 : 松山市役所 まちづくり推進課

TEL : (089)948-6963

FAX : (089)934-1821



ホームページ



Facebook

<設立状況(R8.3.1) 全41地区中>

まちづくり協議会 31(33地区)

まちづくり協議会準備会 0(0地区)



幸せになろう。
松山市
MATSUYAMA CITY